



サイトにアクセス!  
オフィスの動画や  
インタビューも視聴できます。



# よろこびとともに 人と人を「つなぐ」オフィス

## 1

AGENDA

### 生産性・創造性や働きがいの向上へ

「よろこびがつなぐ世界へ」をコーポレートスローガンとするキリングループ。生産性と創造性の向上、そして個の充実を通じた働きがいの向上のために、多方面から働き方を見直しながら、グループ本社オフィスの大規模なリニューアルを行いました。

## 2

APPROACH

### オフィスを再定義して面積も適正化

働く場である「オフィスとは？」を再定義し、共創、チームビルディング、価値観の共有を行う場であると明確化。これを実現するオフィスづくりとともに、多様な働き方に対応したオフィス面積の適正化を図る「ライトサイジング」を行いました。そして、これまでの「集まって働く箱」から「来たくなるオフィス」へと変化させました。

## 3

SOLUTION

### 思いや熱意がつながるSTADIUM

「思いや熱意がつながるSTADIUM」をリニューアルコンセプトに、「つながり」を感じながら共に新たな価値を生み出す場を創造。リアル接点拡大のために、そのシンボルとして中階段まわりに共創エリアを設け、フロアによって「ライブラリー」「ラウンジ」「ラボ」「ゲストラウンジ」と異なる機能を持たせました。



① 19Fの共創空間のテーマは「ラボ」。大人数で集まる社内セミナーや、さまざまなミーティングに対応する可動式モニタなどが用意され、まさに「STADIUM」感のある場となっている。② 20Fの共創空間のテーマは「ラウンジ」。カフェのような雰囲気のあるカジュアルなコミュニケーション空間である。③ 21Fの共創空間のテーマは「ライブラリー」。幅広い事業内容に応える書籍や雑誌があり、各部門の推薦図書が展示されるなど、従業員同士の情報交換の場にもなっている。



## 思いや熱意や イノベーションが 未来へと「つながる」世界へ

### 仕事の目的に合わせてフロアやエリアを使い分け

新たなオフィスではコンセプトである「STADIUM」を実現するために、従業員用入口である「GATE」、執務エリアである「FIELD」、共創エリアである「STAGE」、メインの回遊動線となる「TRACK」という4つのアイデアを形にしました。さらに原則フリーアドレスとし、仕事の目的に合わせて適切なフロアやエリアを柔軟に使い分けられる、いつでもどこにいても働きやすい環境を実現。それは、それぞれの会社や組織を越えたコミュニケーションを促し、人と人をつなぐ環境でもあります。

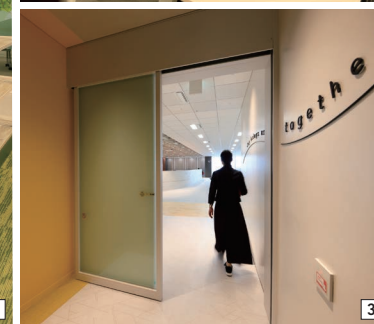


#### Before

リニューアル前は島型対向式のデスクレイアウトで固定席が中心。お互いの距離が十分に確保できないことも問題であった。

#### DATA

|             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 所在地         | 東京都中野区中野4-10-2                 |
| オフィス対象面積    | 約21,000㎡                       |
| オフィス対象人員    | 約3,680名                        |
| インテリア竣工     | 2022年6月                        |
| オフィス設計・デザイン | オカムラ (佐々木 基、品川 愛希子、藤原 有希、伊藤 平) |



- [1] 仲間とのリアルな接点・つながりを生むオープンなチームビルディングの場は「ロッカーーム」と呼ばれている。フロアのテーマカラーが施され、20Fはグリーン。  
 [2] Web会議や電話などに便利なセミクローズ型のブース席。さらに集中度の高い作業に適した「サイレントエリア」も用意されている。[3] 従業員用入口である「GATE」は、フロアのテーマカラーで彩られ、気持ちを切り替えられる。[4] 各フロアには、フルクローズ型ワークブース「テレキューブbyオカムラ」や、ファミレストाइプの席などを設け、仕事の目的や内容によって使い分けられている。[5] 社内外での共創活動を行う18Fのワークショップスペースは、カーテンで仕切れることもでき、内容に合わせて柔軟に空間を生み出せる。[6] 緩やかな曲面を中心に「つながり」を表現した18Fの自動受付。キリンのロゴマークが大きくあしらわれている。